



鉄のふしぎ? 博物館

■10

2008年8月8日から開催された北京オリンピック、開会式は通称『鳥の巣』で行われました。開会式でこの写真を見ましたよね? 「え? 開会式はテレビでしっかり見ましたが、覚えがありません」ほとんどの方がそう言われます。「見ましたよ!」そう答えられたのはこれまで1名だけで

『地盤(じばん)』=(方位磁石)



衣川製鎖工業・衣川良介社長

画像はカラーと交換しています。

した。この写真は、すでに紀元前3世紀に登場していた建物を建てる際、地形や方位の吉凶を判断する占いの道具。後漢時代では、鉄床を探す道具として、使われていたそうです。三国時代の蜀(しよく)の軍略家、諸

界に多大な影響を及ぼし

されたまま、(※)『地盤』を平らな地面に置く、杓の柄が南を指します。天然の磁石を北斗七星に似せたスプーンの形に削りだしたユニークな形です。

開会式のテーマは、世界に多大な影響を及ぼした。この写真は、すでに紀元前3世紀に登場していた建物を建てる際、地形や方位の吉凶を判断する占いの道具。後漢時代では、鉄床を探す道具として、使われていたそうです。三国時代の蜀(しよく)の軍略家、諸

界に多大な影響を及ぼし

した。この写真は、すでに紀元前3世紀に登場していた建物を建てる際、地形や方位の吉凶を判断する占いの道具。後漢時代では、鉄床を探す道具として、使われていたそうです。三国時代の蜀(しよく)の軍略家、諸

界に多大な影響を及ぼし

した。この写真は、すでに紀元前3世紀に登場していた建物を建てる際、地形や方位の吉凶を判断する占いの道具。後漢時代では、鉄床を探す道具として、使われていたそうです。三国時代の蜀(しよく)の軍略家、諸

界に多大な影響を及ぼし

日刊産業新聞 13・6・3

住んでいました。一方、同じ時期に敵対していた部族長、蚩尤(しゆう)は戦上手であり、黄帝の領土に攻め込みました。その際、蚩尤は術を使い霧を起こし目くらまし、しようとしたが、黄帝は指南車を利用し方向を見失わず勝利したとあります。

2009年7月に開館した『鉄のふしぎ博物館』に、この『地盤』を展示しようと探し回りましたが、国内では小さな物しか販売されていません。そこでいつもお世話になっている磁石を製造する両方の説があります。

※注記 指南車については歯車を使用した機械式のものであるとする説と磁石(コンパス)だとする両方の説があります。

※地盤は地盤儀、指南尺(しなんしゃく)、(司南の杓)なども書かれます。